

# 3 ひとり親家庭の現状から見える課題と対応

## ひとり親家庭の状況の変化等（「平成20年度ひとり親世帯等実態調査」より）

母子家庭      父子家庭

「仕事が忙しくて、家事等家のことに手が回らない」などワーク・ライフ・バランスに関する悩みを感じている人が多い。

78.3%

77.8%

10代の母子家庭の母が増加し、その8割が未婚の母である。

10代の割合：  
12%(15年度) 1.5%  
うち「未婚の母」が83.3%

相談相手がない人が増えている。

9.2%(15年度) 15.7%

12.7%(15年度) 19.8%

母子家庭の就業率は増加しているが、正規雇用率は低い。

84.3%(15年度) 87.3%  
正規雇用率:39.4%

母子家庭の平均収入は、一般世帯平均(566.8万円)の約4割である。

225.2万円  
(15年度) 227.3万  
一般世帯の40.1%

養育費を受けている人が少ない。

24.7%

1.8%

家事介護サービス事業の総利用時間数は、母子家庭より父子家庭の方が多。

総利用時間数の52.5%

子どもに関する悩みでは、教育・進学のこと最も多い。

69.1%

60.6%

## 主な課題

仕事と生活(子育て)のバランスがとれた生活を送る(ワーク・ライフ・バランス)ための環境整備

将来を見すえたライフプランが設計できるようなきめ細やかな相談・指導

一人ひとりの状況(家庭状況、資格、経験など)に合わせた段階的・総合的な就業支援

就業による収入増が困難な状況をふまえた継続的な経済的支援

養育費の取り決め及び確保のための支援

安心して働くための家事や育児の支援

進学したい子どもが進学し、自立できるための支援

## 基本方針

ひとり親家庭等が仕事と生活(子育て)のバランスがとれた生活を送るための総合的な支援の推進

## 施策目標

### 施策目標 1

**精神的な自立のための支援**  
ひとり親家庭であることによる精神的負担の軽減や精神的自立を促すための支援を行います。

### 施策目標 2

**安定した経済基盤の確保のための支援**  
安定的な収入が不足しているなど経済基盤が弱いことに対し、就業による収入増や養育費確保のための支援とともに、経済的な支援を行います。

### 施策目標 3

**生活や子どもへの支援**  
ひとりで担う子育てや家事等の生活上の負担の軽減や、子どもの健やかな育ちのための支援を行います。